

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	パリ・デイドロ(パリ第7)大学
留学先での所属学部・研究科:	文学部
留学先での在籍身分:	学生
留学期間:	半年間(2019年1月7日～6月29日)
神戸大学での所属学部/研究科:	文学部
学年(出発時):	3回生
帰国日:	2019/7/2
本報告書記入日:	2019/7/3



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	1月 7日	
	学年終了月日:	6月 29日	
	学期:	①	1月 7日～ 6月 29日
		②	月 日～ 月 日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	日本語学科があり、日本文化・日本語に興味のある学生が非常に多い。フランス文学、美術史等は教師陣も力が入っており学生の人気も高い学科であるという印象を受けた。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	追加料金を支払うことで正規の授業前にフランス語・フランス文化の授業を受けることができる。また、文法と作文あるいはオーラルの授業を週2コマまで受講することができる。	
	勉学面でのサポート:	教授陣は質問対応に快く応じてくれる。また、神戸大学におけるBEEFのようなメディアが発達しており、ファイル交付等に使用されている。	
	精神面でのサポート:	日本人留学生も多く友人を作ることに困難はなかった。大学側からのサポートの有無は残念ながら知らない。	
1-3	住居・生活面でのサポート:	Crousの寮(治安の良い地区・トイレ/キッチン/風呂つき・417€・一人部屋)を借りることができたため非常に快適だったが、1月到着にも関わらず2月からしか受け入れられないと言われるなど(交渉によって解決)学生の粘り強さが求められる場面は多い。また、治安の悪い地区、共用部屋でより高い家賃の部屋を紹介されるケースもあるため、不満がある場合は自分で別の部屋を探すのが良いと思う。	
	課外活動のサポート:	サークルを紹介する冊子をオリエンテーション時にもらったがそれ以外は特になし。国際課に質問に行けば説明を受けることはできると思われる。	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ	
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい	

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	ごく一般的な注意をきちんと払うことができているれば問題は生じない。アジア人であるため、女性は特に、人気の少なくなる時間帯には歩かず早めに帰宅すべきである。アジア人女性であるということ嫌がらせに遭う可能性は常に考慮した方が良くもかもしれない。
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	寮に wi-fi が飛んでおり、家賃に含まれていた。Crous は多くの学生寮がそうであると思う。wi-fi が飛んでおり、聞いた話によると他の大学内でも同じ ID, password で接続できるそうである。
3-2	医療について 留学期間に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	いいえ。日本の薬はある程度持って行っていった方がよい。ストレスで体調を崩す学生もいた。ハンドアルコールの類は食事前に使用するのが望ましいと思う。
3-3	銀行口座等について 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	日本の VISA カードを利用。殆どの場合デビット決済で済んだ。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	10万円/月
	その他(渡航費等の支給):	なし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	約15万 円
	住居費:	(月額) 50729 円 × (留学月数) 6 ヶ月 = 304,344 円
	食費:	(月額) 約6万 円 × (留学月数) 6 ヶ月 = 360,000 円
	保険料:	? 円
	その他: 旅行費・交通費・衣料費・食器等雑費	110万 円
合計(留学期間全体の費用):	170万 円	

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	常に挨拶と会話、店員さんらとのやりとりは多い。部屋に浴槽はない。日曜日は閉まっているお店も多い。クーラーはない。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	買い物や郵便局に行く時はなるべく簡単な会話だけでもするようにはした。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	私の居住地は治安良く閑静な住宅街であったため大変良かった。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動した場合、どんなことをしたか教えてください。	いいえ。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	教会や大学の壁に貼ってあるポスターを見て演奏会などに出かけることは多かった。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	耳かき
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力、とりわけリスニング能力の向上。向こうでの積極的なコミュニケーション態度に慣れたからか性格が明るくなったとしばしば言われるようになった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	寮に居住するための書類が不足していたこと。銀行口座を開けなかったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	提出書類関連(JASSO)のリマインドをいただけたことがありがたかった。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。周辺国へのアクセスもよく、豊かな美術に触れられること・他者との共生について考えを改める機会になることが魅力である。(何よりも奨学金の存在を周知させることは重要であると思う。)
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	5
	・全体として留学に係る費用は安かったと思ひ、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	5
8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>留学をして後悔している人に会ったことがない。結論から言えば私の留学生活も例に漏れず(大変ではあるが)素晴らしいものであり、出国前に抱いていた不安や煩わしさに負けず日本を飛び出して大正解であったと思う。よく、半年や一年では何も変わらないよ、まして人生が変わるなんて、という声を聞いたものだった。私自身もそのように思い込んでいて、環境を変えたくらいでも何かわらないとしても、それでも遠くに行きたいと願ったのだったが、この半年間、蓋を開けてみれば変化と歓喜で溢れ返っていた。私にとってこの留学が貴重なものであった理由は二点ある(細々としたことは数え上げればきりがないので、無理矢理にも二点に集約してみたい)。一点目は、パリ及び周辺国の美術、オペラ、バレエ、…といった諸芸術に心底浸される時間を過ごせたこと、二点目は、他者・他なるものに対する新たな接し方を教わったように感じていることである。一点目に関して、私は芸術学専修に所属しフランスの思想や欧米の芸術について論じることを試みている者であるが、渡欧前と後とでは芸術への向き合い方がまるきり異なってしまったように感じている。恥ずかしいことに、渡仏前の興味・関心には実のところ少なからず教養主義的な義務感が伴っていたのだが、フランス国内外約30都市8カ国の美術館・ギャラリーを巡り、芸術作品を鑑賞するというよりは私自身が押し流され遠くに行ってしまうような経験を繰り返したことで、そのような嘘くさい芸術信奉は吹き飛ばされた。可能ならば私の生を費やしたいと願うようになってしまった。(学生は無料で入館できる場所が多く、しかも「巨匠の名画」であれ空いていることも多いので、半ば呆然としていつまでも眺めることができる。)二点目は、上手く言語化できるか自信がない。パリの街の土壌とでも言えば良いのだろうか、決して監視的でなく支配しようとするような眼差しではないのだけれども、困っている人に手を差し伸べるようなことが身に染み付いている人たち。そのような中で暮らしていたからか、私はこの半年で他者に対し感じていた漠然とした恐怖感が随分と和らいだように思う。具体的には、共有する言語を持たない動物たちのことが好きになった(そして会う人、会う人に「明るくなった」と言われるようになった)。異なる文化圏で暮らすことは日本を相対化する上で極めて重要で、精神性に関しては尚更だろう。へとへとになるまで美術館を回り第二外国語で生活する日々、生まれ変わるような日々を過ごしていたことの変化が具体的にどのような形で現れるか、どのように結晶化されるのか、まだ私自身充分には掴めていないけれども、半年で自らに植わった幾つもの種子が発芽するのをとても楽しみに待ちながら、日本でも水を遣っていきたいと思う。</p>		

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	美術史	C é lia Nau	3	4	フランス語	約50	授業内容録音及び受講生のノートを借りること。授業内容を暗記すると共に美術史的知識を独習すること。
2	アメリカの都市と文化	Mark Meigs	2	2	英語	70?	毎回授業に出席すること。
3	美学	G. Mélis	2	2	フランス語	35	毎回授業に出席し可能な限りノートを取ること。類似内容の書籍を日本語で良いので読んでおくと理解が進む。
4	フランス語作文	Najet Boutmghari	2		フランス語	20	特になし。宿題を忘れず行うこと。
5	フランス語文法	Claire Dupuy	2	3	フランス語	35	特になし。出席し授業を聞くこと。
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

厳しい先生はフランス人でも容赦なく落とすため留学生で単位を取得することは容易ではないが、優秀そうな学生のノートを駆使することでパスすることはできる。教員にフランス語能力が未熟であることを伝えると多少の配慮をもらえる場合がある。授業はどれも極めて刺激的で学生も積極的に発言・質問する。